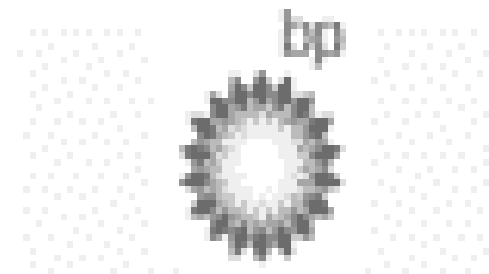
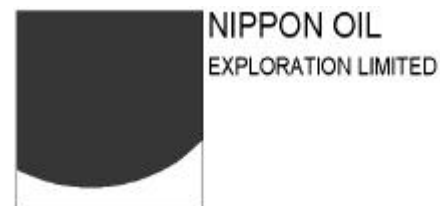


PIMMAG (マレーシア石油産業油濁相互援助機構) との合同訓練について

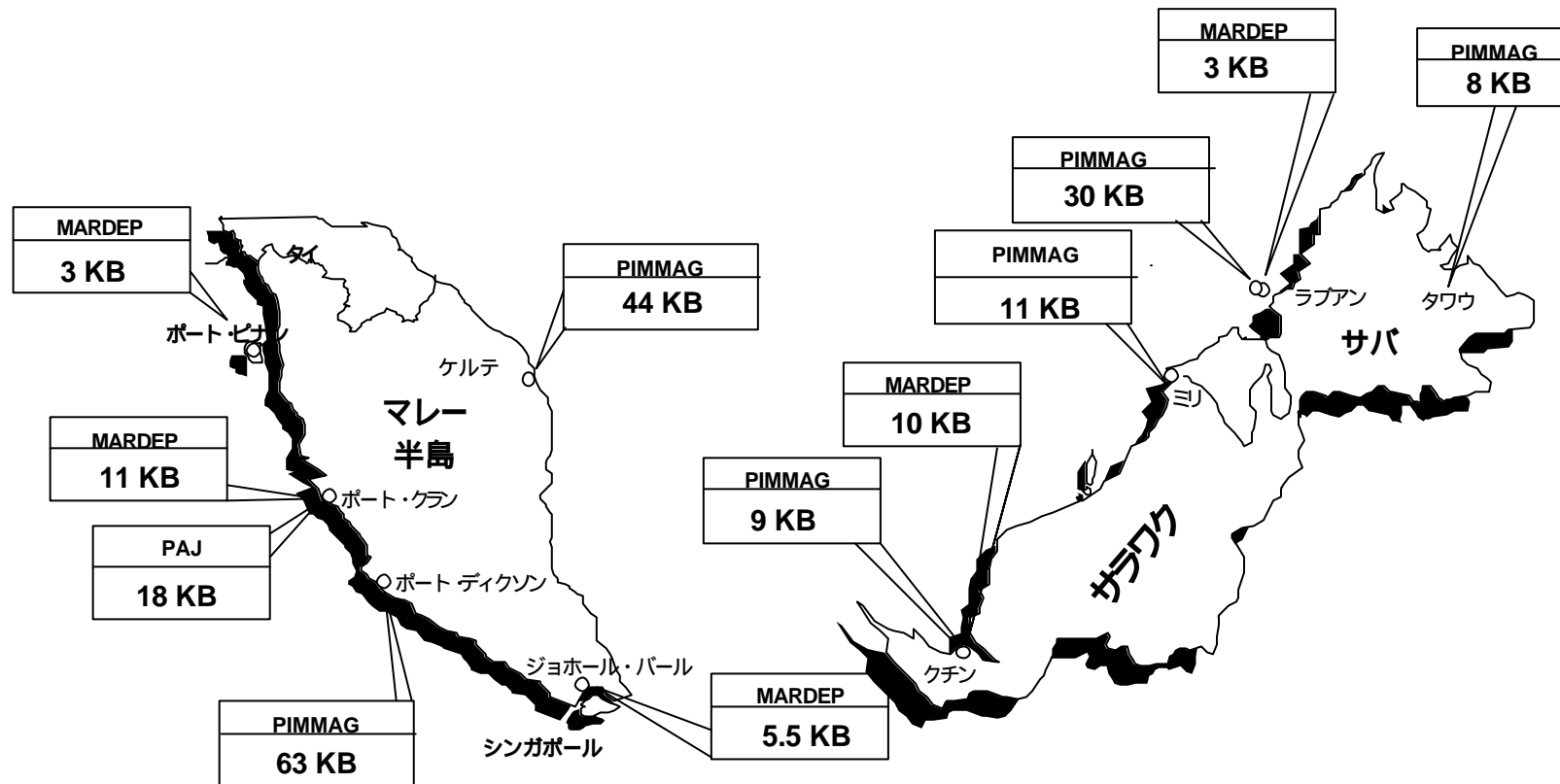
Capt. Chin Kon Wing
Manager, Operations & Training
PIMMAG



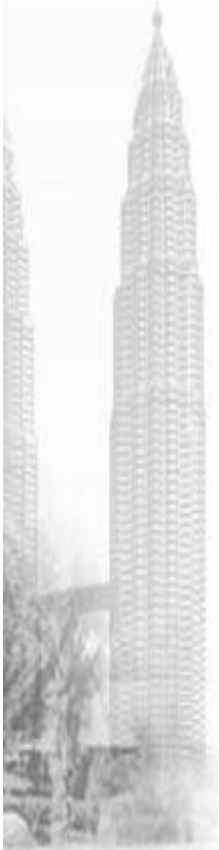
PIMMAG (マレーシア石油産業油濁相互援助機構)はマレーシアで油濁対応および訓練を行う**非営利組織**であり、**下記の企業からの資金により運営**されている。



マレーシアにおける資機材の油濁対応能力

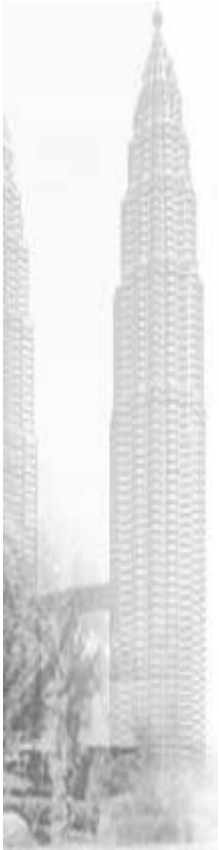


KB - 千バレル
PAJ - 石油連盟
PIMMAG - マレーシア石油産業油濁相互援助機構
MARDEP - 海事局



PIMMAG / PAJ 合同訓練を行う理由

- ✍ マレーシアの海岸線は4,800 km以上に及ぶ
- ✍ 年間 60,000 隻以上の船舶がマラッカ海峡を通過する
- ✍ PIMMAG とPAJの会員企業 はこれらの船舶および積荷油に強い関心を持っている
- ✍ PIMMAG とPAJの安全衛生 環境に関する方針と合致させる
- ✍ 前回の訓練は2000年8月にポート・ディクソンで実施した
- ✍ 習うより慣れよ！



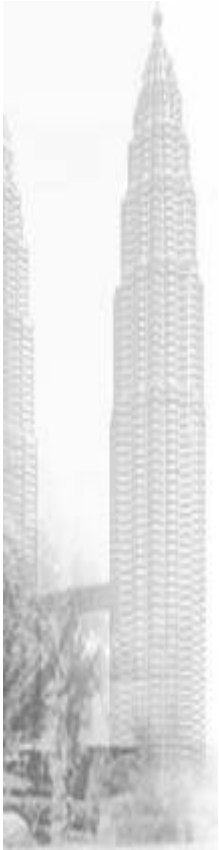
目標

検証すること

- ✍ PIMMAGとPAJ間のインターフェース
- ✍ 各油濁対応計画の有効性
- ✍ 油濁対応チームの知識と技術
- ✍ 油濁対応資機材の信頼性
- ✍ 使用可能な油濁対応船の適性
- ✍ PAJ資機材のロジスティクス

改善および発展させること

- ✍ 油濁対応ネットワークおよび密接な協力関係



参加者

主催

 PIMMAG

 PAJ

後援

- Shell

- PETRONAS

オブザーバー

 環境局

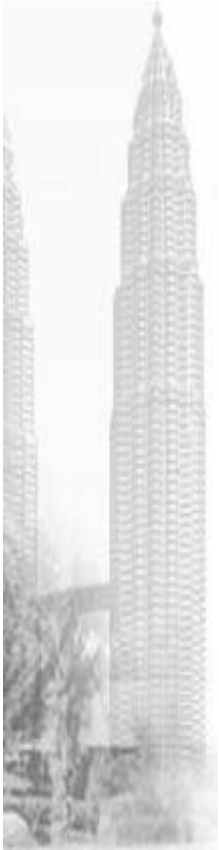
 海事局

 民間防衛隊

 海洋警察

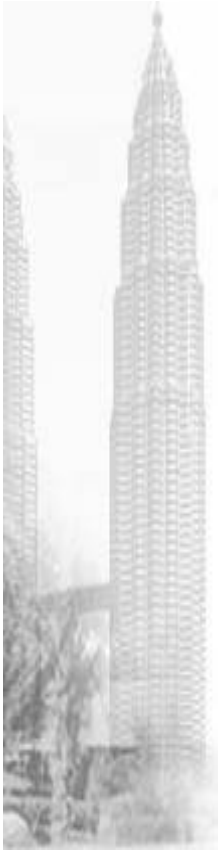
 水産局

 消防局



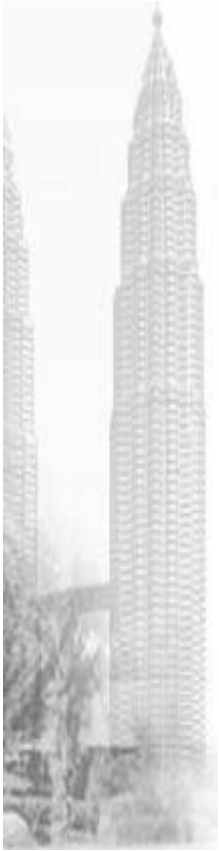
訓練内容

- ✍ 海岸における資機材展開訓練に引き続き、翌日沖合で資機材展開訓練が行われた
- ✍ 沖合の資機材展開訓練はブルネイ湾で実施
- ✍ 訓練参加者合計：50名 (船員を除く)
- ✍ 上陸用舟艇2隻、タグボート2隻、支援船1隻
- ✍ PAJの資機材は、GT-185油回収機およびバイコマ充気式オイルフェンスを使用
- ✍ PETRONASの資機材は、オートブームおよび油回収機を使用
- ✍ 本訓練の総費用はおよそ US\$15,000



訓練における安全衛生・環境管理

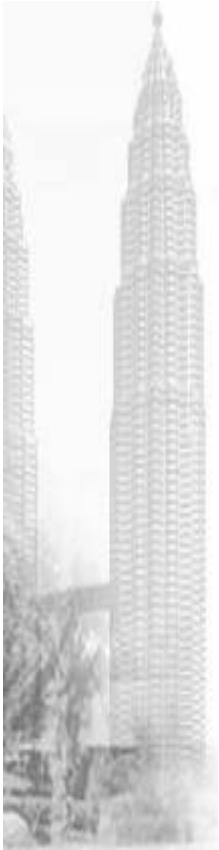
- ✍ 会員企業の安全衛生・環境管理システムの遵守
- ✍ 連絡方法と手順の確立
- ✍ 船員を含む全参加者に対する安全に関する説明
- ✍ 説明は英語、マレー語、日本語で実施
- ✍ 必要な保護具の厳格な装着
- ✍ 安全衛生・環境面からの有効な「作業中止の方針」
- ✍ 現場における安全担当者および応急処置担当者
- ✍ 天候の監視



考察および所見

- ✍ 理想的かつ経済的な油濁対応船を常に使用できるとは限らない
- ✍ 臨時に雇われた船長や船員は、油濁対応技術についてあまり訓練されていない
- ✍ 船舶の設備は、安全衛生 環境面において高い水準にないため、油濁対応チームによる管理が必要である
- ✍ 資機材の海上輸送に8日を要した。実際に油流出が起きた場合には、ラブアン島へ空輸することになる
- ✍ 訓練は事故もなく無事に終了した
- ✍ PIMMAGとPAJのネットワークおよび協力体制が強化された
- ✍ グループ・ダイナミクスおよび異文化交流を体験できた

ご質問をどうぞ



Capt. Chin Kon Wing
Level 46, Tower 1
PETRONAS Twin Towers
50088 Kuala Lumpur
Tel: 603-2331-4977
Fax: 603-2331-4990
Hotline h/p: 019- 31 31 631
chinkonwing@petronas.com.my